



標小だより

令和4年5月31日発行 責任者 校長 高橋知毅
URL <http://town.shibeche.ed.jp/shibeche-e/htdocs>

標小がめざす子ども像

- 自ら学ぶ子（知）
- 人のために行動できる子（徳）
- 自他を尊重する子（徳）
- 心身の健康安全に向け挑戦する子（体）



随時更新！
標小ホームページへアクセス

「人間（じんかん）距離」

校長 高橋 知毅

■新学期になり早2ヶ月がたちました。今年は桜の開花が例年より早く、すいぶん温かくなりました。休み時間になると、校庭では子供たちの元気な歓声が響いています。延期となっていた参観日、懇談会も無事に行うことができ、学校の様子をご覧いただけたことを嬉しく思っています。

コロナ禍については、明るい兆しが見えるところまでには遠い道のりですが、「子どもたちにとってはこの一年は一度きり」だということ胸に刻み、知恵を出し合いながら一歩ずつ歩みを進めていくしかありません。

■さて、私は、新年度になるといつも「人と人の距離感」の話題を取り上げるようにしています。ご承知の通り、今は、「3密」を避けるために「対人」の制限がなされています。まさにコロナ禍の中にあって一層「人と人の間の距離のあんばい」が大切になっていくのではないのでしょうか。

これは造語ですが、「人間（じんかん）距離」というものだそうです。人と人の距離が近すぎても、遠すぎても人間関係はうまく構築することはできません。この「距離感」を見誤ると誤解や不信感を招いたり、トラブルになったりすることもあります。

■私たち教員の役割の一つとして、子どもと子ども、子どもと教師、子どもと教師や保護者等の「距離感」を見つめ直すことがあげられます。

教員の世界でも、近年、子どものことが分からない、ついていけないということで、悩むタイプが多くなったとの指摘があります。

■子どもを理解することについて、否定する人はおりません。ただ、このことが「誰のためのものであったか」を謙虚に振り返ってみる必要があると思います。

単に、よく覚えさせるための子ども理解であったり、大人の言うことを聞かせるための子ども理解であったりはしないか…。

もちろん、それはそれとして意味はありますが、肝要なことは、子ども理解を通して、「その子の味方になれるか」ということだと思います。「子どものことを知っていること」と、「その子どもの味方であること」は大きく違うものです。

私は、大人の共通する役割として、『どんなことがあっても子どもの味方 子どもの支援者』であること、そして、子どもの思いや願いに寄り添い、志を持たせ、自己実現に向けて支援をすることが大切だと考えます。

■現在の親と我が子、我が子とクラスの子ども、我が子と教員、親と教員、親とクラスの保護者、親と隣人などの「人間（じんかん）距離」は果たして適切でしょうか。

見極めるのは人によって違いますし難しいものですが、それぞれの「人間（じんかん）距離」を謙虚に見直し、人と会えない今だからこそ、それぞれの関係を健全にするには、どうすればよいのか、それぞれが自問自答し、改善に向け速やかに行動に移したいものです。



日 曜	6 月 行 事 予 定	バス時刻	
		1 便	2 便
1	水 安全点検日	14:50	
2	木 4年社会見学 放課後学習	14:50	16:00
3	金 クラブ活動① 定時退勤日	14:50	16:00
4	土 PTA環境作業、運動会保護者席区割り作業		
5	日		
6	月 運動会ありがとう強化週間~6/24 職員会議	14:50	
7	火 全校朝会 不審者対応訓練 運動会実行委員会① ALT	14:50	16:00
8	水 職員研修日	14:50	
9	木 5・6年内科検診 放課後学習	14:50	16:00
10	金 運動会実行委員会②	14:50	16:00
11	土 PTA環境作業、運動会保護者席区割り作業予備日		
12	日		
13	月	14:50	16:00
14	火 全体練習① ALT	14:50	16:00
15	水 全体練習② スクールカウンセラー来校日 職員会議	14:50	
16	木 放課後学習	14:50	16:00
17	金 運動会実行委員会③	14:50	16:00
18	土 標茶小学校運動会		
19	日		
20	月 振替休業日		
21	火 運動会実行委員会④ お話会(3月)	14:50	16:00
22	水 4年たんちょう大学 職員研修日	14:50	
23	木 4年たんちょう大学予備日 放課後学習	14:50	16:00
24	金 5年体力テスト 1・2年防犯教室 お話会(4月) クラブ活動② 1・2年内科検診 定時退勤日	14:50	16:00
25	土		
26	日		
27	月 持久走チャレンジ~10月まで 全学年眼科検診 6年体力テスト	14:50	16:00
28	火 1・4年耳鼻科健診 2年体力テスト ALT	14:50	16:00
29	水 1・4年心臓検診 3年体力テスト	14:50	
30	木 4年体力テスト 1~5年給食後下校 6年5時間授業	13:20	14:50

5/20 (金) 遠足に行ってきました

5月20日(金)に1～4年生と6年生が遠足に行ってきました。1年生は「軍馬山」、2年生は「町内校園巡り」、3年生は「京都大学演習林」、4年生は鶴居村の「温根内ビジターセンター」、6年生は「虹別オートキャンプ場」でした。途中天候も心配などころはありましたが、皆元気に帰校しました。週明けの月曜日には「足が痛い。」と言っていた子もいましたが、楽しい時間過ごしてきたようです。



写真上段左は1年生。軍馬山の麓に到着。もうすぐです。

写真上段左から2枚目は2年生。第1の目的地旭消防公園を出発して富士公園に向かっている途中です。

写真上段右から2番目は3年生。約2.5kmの道のりをがんばって歩きました。疲れも見せず、荷物を置いて広場へ向かって走り出しました。

写真上段右は4年生。温根内ビジターセンターの係の方から、遊歩道で湿原のことについて説明を受けています。メモもしっかり取っています。

写真下段は6年生。虹別神社から約2km歩いてきました。

5/27 (金) 5年湿原学習①に行ってきました

5年生は20日(金)の遠足には行かず、27日(金)に総合の学習で「達古武オートキャンプ場」に行ってきました。本校5年生の総合学習の大きなテーマ「釧路湿原」について、北海道環境財団や環境省の現地係のご協力を得て達古武湖周辺の植生などを調べてきました。散策路の木道を進みながら周辺の草花や樹木について説明を受け、また、疑問に思ったことをたくさん質問していました。セミの抜け殻も拾っていました。少々疲れたのか、帰りのバスの中ではほとんどの子がぐっすりでした。

今回は8月末頃を予定しています。季節が変わり、達古武湖周辺がどのように変化しているのか。また、5年生は標茶町の事業として行っている塘路湖からのカヌー体験でも釧路湿原の様子を観察してきます。



「標茶小学校のくらし」を配布しました

先日、『標茶小学校のくらし』を配布致しました。その中には「学校での生活や学習」「家庭での生活」等について書かれています。「これはどうしたらいいのかな？」などと迷われたときに目を通していただけたらと思います。

各ご家庭の目につく場所などに貼っていただき、ご活用いただけたらと思います。家庭や学校での細かなルールの基本としていきたいと考えています。



「LEBER(リーバー)」ご活用ください

5月16日(月)より本格運用を開始した健康観察アプリ「LEBER(リーバー)」には現在およそ140名の児童が登録されています。毎日の健康観察(体温チェック等)ばかりでなく遅刻や早退の連絡にも活用できます。先日行われたPTA役員会においても役員の皆様に画面の一部をご覧になっていただきました。

もちろん強制ではございませんので、各家庭の事情により登録できない場合もあるかと思えます。まだ、登録されていない場合は是非ともご検討ください。

ありがとうございました

①本校PTAの西内様に学校農園の整地作業を行っていただきました。大切に使い学習に役立てていきたいと思えます。

②グラウンドの整地作業を4月に野球少年団の保護者会様、5月に明盛建設様に行っていただきました。たくさんの重機により作業が進められました。作業終了後のグラウンドで元気に活動する子どもたちの姿が見られました。

本校は地域のたくさんの人に支えられています。大変ありがとうございました。

6/18 (土) 運動会にむけて

6月18日(土)に3年ぶりとなる全校での運動会を実施する方向で進めています。新型コロナウイルス感染症の感染状況が変化した場合は別な対応を取ることとなりますが、児童は徒競走や学年種目、表現の練習が始まりました。今年の運動会のスローガンは、



**「笑顔ではげましあいながら、
堂々とやりきろう」**

に決まり、目標の姿を目指して各学年の取組が進んでいます。今年も1家庭2名と限定ではありますが、児童がまた一つ成長した姿をご覧になっていただきたいと思えます。

5/19 (木) 前期児童総会

5月19日(木)に3年ぶりに体育館に4～6年生が一堂に会しての前期児童総会が行われました。

6年生も含めて、このような形での実施は初めてでしたが、各委員会の活動に対して率直な疑問点や見通しを質問・意見として説明を求め、各委員長はそれに対してしっかりと発言する姿が見られました。

テレビ画面を通してでは味わえない緊張感や臨場感を体験できたのではないのでしょうか。

児童会活動はこれで終わりではありません。ここがスタートです。何のために計画し、どのように進め、しっかり振り返り、次の行動へ。より良い標小目指して取り組む皆さんに期待します。